

新庄志誠館高等学校生徒と県議会議員との意見交換会開催状況

開催日時	令和8年7月7日（火）14時25分～15時25分
開催場所	新庄志誠館高等学校（新庄市）
出席議員	渋間佳寿美、高橋弓嗣、能登淳一、 <u>石川渉</u> 、 <u>松井愛</u> （ <u>下線</u> は広報・広聴委員）
参加者	2年生30名
意見交換の概要	①地域活性化、②新庄から活躍する人材の育成、③10代の政治参加（投票、立候補等）をテーマとして、5班に分かれてワークショップ形式で意見交換を行った。また、生徒が各班で取りまとめた内容を発表した 【主な意見等の内容】 ①地域活性化 ・都市開発の中で、地域にベンチやパラソルのようなものを設置すれば、人も集まってきて活性化すると思う。 ・生徒や学生が積極的に意見を言ったり、地域のイベントに積極的に参加したりすることが重要。 ・国外からも人が来てもらえるように、新庄まつりなどをSNSで発信していくべき。 ②新庄から活躍する人材の育成 ・小中高生にも農業へ興味を持ってもらえるような工夫が必要。新規就農者に対する支援金などもあるため、そういった情報を伝えていくべき。 ・新庄でしか食べられない地場野菜を増やし、また、商品のレパートリーを増やすとよいのではないかな。 ・Uターンを増やすにはインフラ整備が課題。 ・若いうちから新庄で経験を積んで、新庄で働きたいという気持ちや地元愛を高めていくことが大事。 ・誰かが良くしてくれるという考え方ではなく、積極的に自ら行動することが大事。 ③10代の政治参加（投票、立候補等） ・市町村議会で行っている模擬議会は、議会のプロセスを知ることができるいい取り組みだと思う。 ・本県の18歳の投票率は全国的にトップクラスだが、19歳から投票率が下がるのが課題。 ・実際に議員と話すことで、誰でもやる気さえあれば政治家になって世の中を変えていくことができるということが分かった。